

令和6年度

第一回 防災教育実施要項



船橋市立大穴中学校

目次

- 1, 学校長より
- 2, 一学年の防災訓練
- 3, 企画書
- 4, 会場図
- 5, 事後アンケート
- 6, 二学年の防災訓練
- 7, 企画書
- 8, 武道室レイアウト
- 9, 事後アンケート
- 10, 三学年の防災訓練
- 11, 防災教育提案書
- 12, ゲームの概要
- 13, 事後アンケート
- 14, メモ
- 15, 地域へのポスター



1-4 船岡 歩己



1-2 小林 遼明



1-2 石原 小町

学校長より

船橋市立大穴中学校
校長 石川 裕厚

地震大国と言われているこの日本では、過去に関東大震災をはじめ、阪神淡路大震災、東日本大震災等で多くの尊い命が犠牲になりました。そして今年の1月1日には能登半島地震でも多くの被災者が出ました。その後、皆さんが知っているように関東周辺で数多くの地震が観測されています。専門家の話では最悪の場合、死者2万3000人、経済被害は95兆円に達すると言われる首都直下地震の発生確率は今後30年間に70%とされています。本校生徒が40歳代までの間にこのような大惨事が起こる可能性があるということを知り、いざというときにどうすれば生き残ることができるのか、地域の一員として自分ができることは何なのかを考える時間にしたいと考えています。

大穴中学校の生徒が社会人になり、この地に残ったり、他市や他都道府県で活躍することでしょう。そこでまず有事の際は自分の命を守り、家族の命を守り、地域の人と協力してその難局を乗り越える力をつけて欲しいです。自分の命を守る行動を自助、地域で協力して他者の命を救うことを共助といいます。過去の災害では生存者の中、90%以上の方がこの自助、共助で生き残ったそうです。市や県、国の助けを公助といいます。公助で助かった人はほとんどいないのが現実のようです。また、訓練を受けている人と受けていない人でも生存確率は大きく変化するそうです。実際、有事の際に大人が、自分の家が倒壊や火災の被害に合い、自分の命は助かったけれども近親者に不幸が訪れた場合、氣力を失い何も考えることができなくなる人がほとんどだそうです。そこで活躍するのが皆さん中学生なのです。

過去の大地震でも中学生が先頭となり、避難所で何をすればよいのか考え、動く姿を見て大人たちの氣力が戻ったという例がたくさんあるそうです。大地震が来た時には先生方も被災し、今の生活圏で必死に生きようとしているので、すぐに勤務先である大穴中学校にたどり着くことはできません。しかし、大穴中学校には有事の際に学校を避難所として運営する市の職員が参集されます。その参集職員と協力してみんなで力を合わせて大穴地区の復興に力を貸してください。

今回の防災教育では地域の方や保護者の皆さんにも参加をお願いしました。この訓練を通して大人と中学生の絆が深まり、お互いをサポートしながら本日の訓練に参加していただければと思います。安全第一で実りのある訓練になるようご協力をお願いします。

令和 6 年度 大穴中防災訓練・1 学年企画書

1. ねらい 『生きる力』を育む学校での防災教育
2. 目的 1) 地域の特徴を踏まえ、発災時の初動行動を知る
2) 自分とみんなの命の守り方を、協力しながら楽しく体験する
3. スケジュール概要(仮)

	時間	所要時間	内容	担当	会場
5 ・ 6 校 時	13:30～	15分	開催挨拶・説明	校長先生	体育館
	13:45～	10分	生徒訓練会場へ移動/設営	SL	体育館
	13:55～	85分	訓練開始「防災運動会」 (途中休憩10分)	SL	体育館
	15:20		訓練終了(各会場で解散)		

4. 内容 『防災運動会』

- ・防災に関する基本知識を身につけ、「自分で助かる」「みんなを助ける」ことの大切さを、運動会の楽しさを取り入れ、ストーリーに沿ってチームで体験しながら学ぶ。
- ・体験メニュー・・・シェイクアウト訓練、バケツリレー、応急手当・搬送リレー
- ・クラス対抗
- ・各進行の流れ・・・デモ説明→練習→実施

5. 対象 1 学年全生徒・・・5 クラス173名/1クラス34名

6. 会場 体育館 (建物2階)

7. ストーリー

- ここは自宅。時刻は、平日18時。夕食ができるまで学校の宿題に取り組んでいる自分。その時、急に携帯電話から緊急地震速報が鳴り響き、次の瞬間、突き上げるような激しい揺れが始まる。「地震！」自分は瞬時に安全な場所を探し、その場で揺れがおさまるまで安全確保行動をとる。→「**シェイクアウト**」(体験)
- 2分後。揺れがおさまった。ケガもなく、生きている。
すぐに家族の安否が気になり、その場で大きな声で名前を呼んだ。すぐに返事が返ってきた。家族はケガもなく生きているのがわかった。そのあと、自宅内外を確認し、自宅の被害は無いと判断。まだ帰宅していない父へ家族の安否を送信。町会の安否確認ルール「無事です札」を玄関の外にかけた。→「**安否確認・171**」(解説)
- 「火事だ～！」声が聞こえた。自分は自宅の消火器を集め、ライトを持って現場に駆け付け初期消火を手伝う。→「**バケツリレー**」(体験)
- 延焼火災もなく、消火完了。
一息する間もなく「だれか助けて～！」あちこちから聞こえていたことに気がつく。既に日がくれており、停電あたりは真暗。ライトをつけ、声が聞こえる方へ駆け寄る。そこで近所の人と応急手当を担い、簡易担架で病院前救護所が設置される病院まで徒歩で運ぶ。とにかく人手

が足りない。→「応急手当・搬送リレー」(体験)

●病院前救護所に到着。

とにかく疲れた。ひとまず家に帰ろう。

8. 準備するもの

- 1)学校・・・スクリーン、プロジェクター、HDMI ケーブル、スピーカー、ワイヤレスマイク2本、演台、養生テープ5本、ごみ袋、バケツ25個、2L 空ペットボトル(キャップ付)各クラス10本程度(生徒有志)、毛布(備蓄品)5枚、カラーコーン5個、ビブス(色混合可)25枚、点数カウンター5台
- 2)SL・・・あっぱくん35個、ストップウォッチ5個、20L ポリタンク10個、その他備品、PC、パワポデータ

9. 前日までの準備

- 1)準備品を体育館へ搬入・・・学校・SL
 - 2)ペットボトル(満タン)とポリタンク(満タン)に水を入れる・・・学校
 - 3)グループ分けの検討・・・学校
- 応急手当・搬送リレーは、各クラス7人1組で実施。男女混合チーム。
前から7人+7人+7人+7人+6人(←実施した生徒を補充し7人にする)=34人

10. 訓練の流れ、役割分担表(予定)

時間 (所要時間)	内容	先生	SL
12:00～	体育館開場		
13:30～ (15分)	開催挨拶・説明(校長先生)	—	—
13:45～ (10分)	生徒・訓練会場へ移動開始	生徒誘導① ・1学年は「体育館」	会場設営 ・PC/PJ 接続・音声動画出力確認 ・ワイヤレスマイク2本音量調整 ・演台準備 バケツリレー設営 ・養生テープ貼り(放水・搬送) ・カラーコーン設置/火元イラスト 5台 ・バケツ25個/ペットボトル35本
13:55～ (5分)	訓練開始 ・挨拶/紹介(SL) ・訓練目的/内容説明(SL)	生徒整列① ・各クラス2列縦隊	SL メンバー紹介 記録写真
14:00～ (25分)	・シェイクアウト訓練(5分) →デモ説明/実施 (プロジェクター)		記録写真 放水見守り

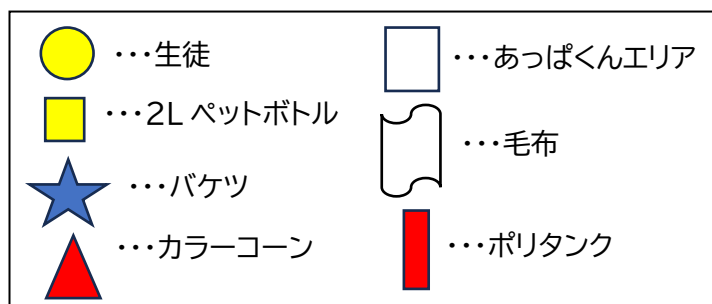
	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認と171(5分) →(プロジェクター) ・バケツリレー/クラス対抗 (15分) →デモ説明/練習/実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒整列② ・各クラス1列縦隊 	
14:25～ (10分)	休憩	—	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当/搬送リレー設営 ・養生テープ貼り(胸骨圧迫、搬送) ・あっぱくん35個/ストップウォッチ5個/毛布5枚/ポリタンク10個 ・カラーコーン設置5台 記録写真
14:35～ (45分)	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当、搬送リレー/クラス対抗(30分) →デモ説明/練習/実施 ・結果発表(5分) (プロジェクター) ・まとめ (10分) 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒整列③ ・各クラス7人横隊 (7・7・7・7・6) 生徒誘導② ・6人以下→7人 (実施生徒を補充) 	<ul style="list-style-type: none"> あっぱくん1分間計測 担架作り指示 記録写真
15:20	訓練終了	<ul style="list-style-type: none"> 生徒誘導③ 「各教室」へ移動 	片付け/振り返り/解散

11. 会場図(生徒動線/教員/SL 配置含)・・・別添

1)シェイクアウト訓練/安否確認と171

2)バケツリレー

3)応急手当・搬送リレー
(右表記参照)



12. 点数計算

メニュー	1位	2位	3位	4位	5位
バケツリレー	5点	4点	3点	2点	1点
あっぱくん・搬送リレー	5点	4点	3点	2点	1点

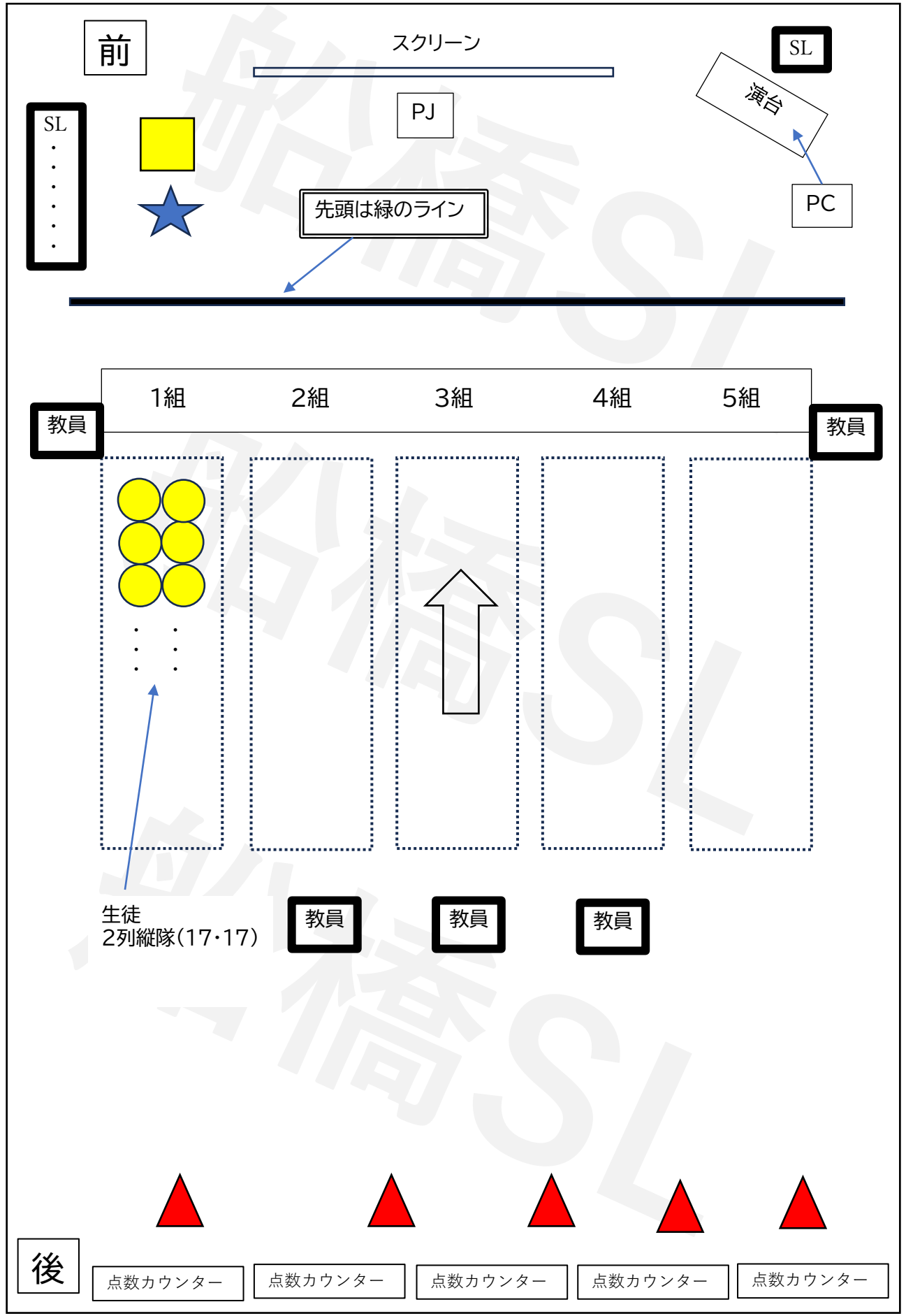
※同点あり、途中加点あり

13. 効果

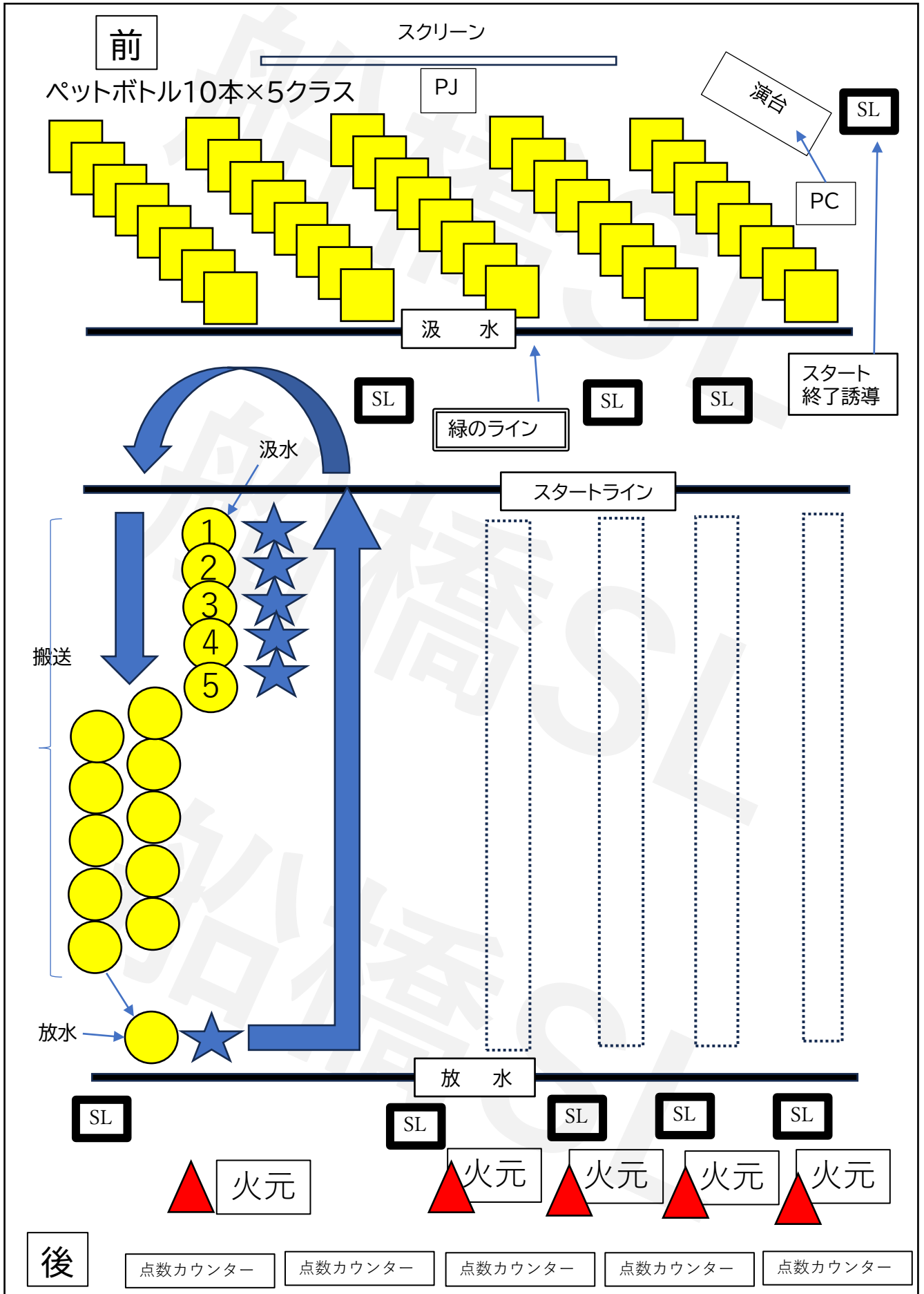
- 1)中学生が防災に関心を持つ。
- 2)中学生が主体的に考え行動することで、地域の防災意識を高めることができる。
- 3)地域交流。地域と学校がつながることができる。

以上

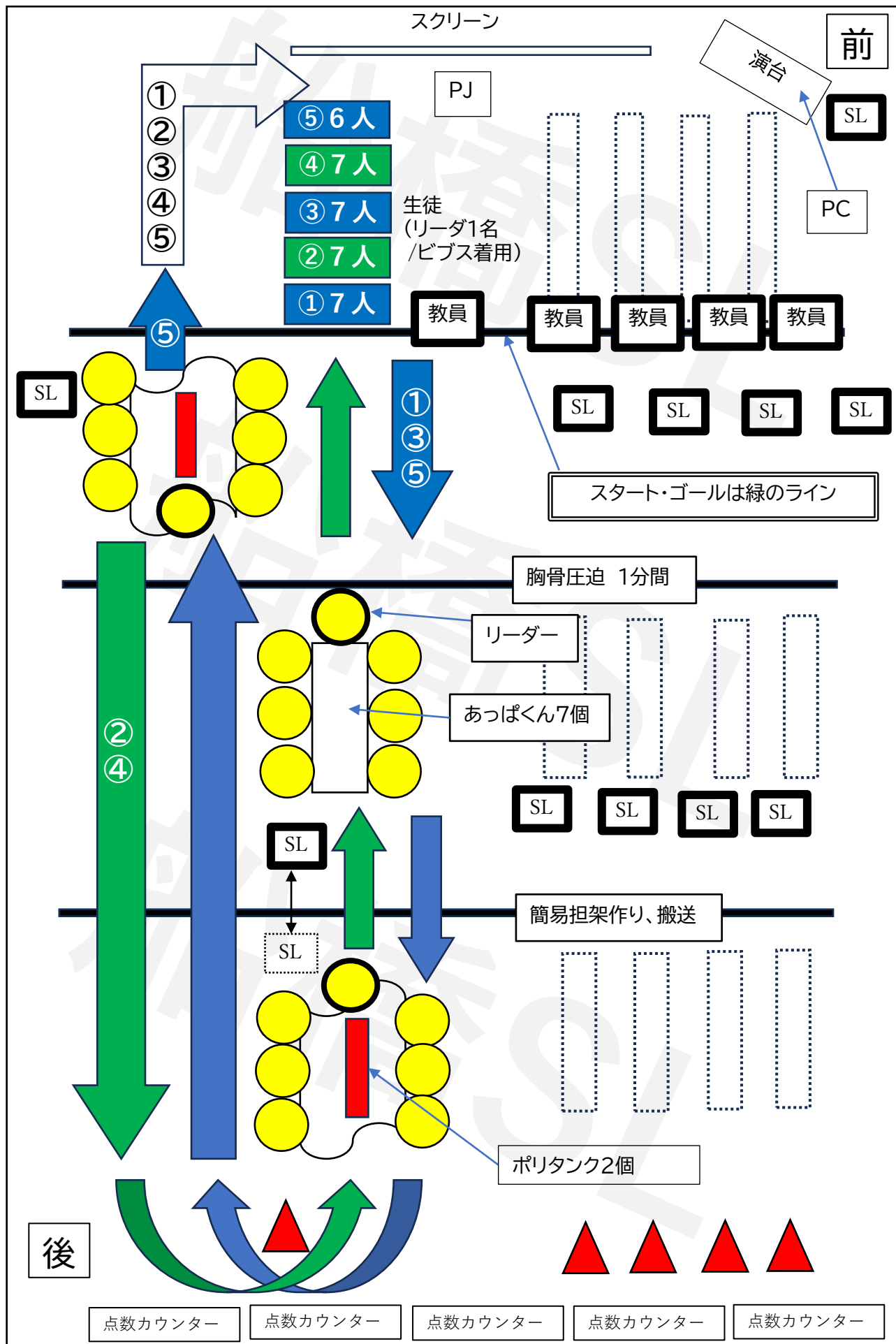
①シェイクアウト訓練/安否確認と171・・・生徒2列縦隊



②バケツリレー・汲水生徒からスタート・・・生徒2列縦隊



③応急手当・搬送リレー…生徒:7人横隊



令和6年度 大穴中学校防災訓練・1年生事後アンケート

■アンケートの目的

1. 訓練評価
2. 運営者の振り返り、次年度への改善に役立てる

■Google フォームで作成、集計。

■メールアドレス共有なし

■質問数 Q1～Q9

■質問内容

令和6年度大穴中学校 1学年事後アンケート

本日実施した防災訓練を振り返って、あなたのご意見をお聞かせください。

アンケート設問は、全11問です。

回答者 1年 組 番 氏名

Q1. 学年と組を選択してください。(選択・必須)

- ①1年1組
- ②1年2組
- ③1年3組
- ④1年4組
- ⑤1年5組

Q2. 生徒番号と氏名を入力してください。(例)08 大穴太郎 (記述・必須)

Q3. 防災運動会は楽しかったですか。(選択・必須)

- ①とても楽しかった
- ②やや楽しかった
- ③あまり楽しくなかった
- ④全く楽しくなかった

Q4. 体験したことは、普段の生活に役立ちそうですか。(選択・必須)

- ①とても役立つと思う
- ②やや役立つと思う
- ③あまり役に立たないと思う
- ④全く役に立たないと思う

Q5. 体験したことは、災害時に役立ちそうですか。(選択・必須)

- ①とても役に立つと思う
- ②やや役に立つと思う
- ③あまり役に立たないと思う
- ④全く役に立たないと思う

Q6. 今回の訓練で、役に立つと思った項目を教えてください。(複数回答可) (選択・必須)

- ①シェイクアウト
- ②消火訓練
- ③あっぱくん
- ④簡易担架搬送
- ⑤なし

Q7. 今回の訓練で、役に立たないと思った項目を教えてください。(複数回答可) (選択・必須)

- ①シェイクアウト
- ②消火訓練
- ③あっぱくん
- ④簡易担架搬送
- ⑤なし

Q8. 訓練内容は、難しかったですか。(選択・必須)

- ①とても簡単だった
- ②やや簡単だった
- ③やや難しかった
- ④とても難しかった

Q9. 訓練時間は、適切でしたか。(選択・必須)

- ①長いと感じた。
- ②適切だと感じた。
- ③短いと感じた。

Q10. 講師の説明は、分かりやすかったですか。(選択・必須)

- ①とても分かりやすかった。
- ②やや分かりやすかった。
- ③やや分かりづらかった。
- ④とても分かりづらかった。

Q11. 今回の訓練で気づいたこと、感じたこと、考えたことを、自由にご記入ください。(自由記載)

以上でアンケートは終了となります。

Thank you for your feedback .

令和6年度 大穴中学校 出前講座・2学年企画書（案）

- 1.目的 講話や資機材取扱い訓練を通して生徒の防災意識を向上させる
- 2.対象 ・2学年全生徒（5クラス174人）
 ※5クラスをA班とB班に分け、実施する
 ※保護者や地域住民の方々が参加する場合はA班、B班の振り分け人数が偏らないよう学校側で調整いただく
- 3.内容 ・『防災講話』（船橋市危機管理監、オンライン形式）
 ・『資機材取扱い訓練』（紙管パーテーション、LEDバルーン照明、カセットボンベ式発電機）
- 4.会場 各教室（防災講話）、武道室（資機材取扱い訓練）

5.スケジュール概要（仮）

	時間	所要時間	内容	担当	会場
事前	—	—	資機材搬入	危機管理課	備蓄倉庫⇔武道室
5 ・ 6 時 間 目	13：30～	15分	開催挨拶・説明	校長先生	体育館
	13：45～	10分	生徒各会場へ移動	教職員	A班 各教室 B班 武道室
	13：55～	35分	【A班】防災講話 【B班】資機材取扱い訓練	危機管理課	A班 各教室 B班 武道室
	14：30～	15分	休憩・A班/B班入れ替え	教職員	—
	14：45～	35分	【A班】資機材取扱い訓練 【B班】防災講話	危機管理課	A班 武道室 B班 各教室
	～15：20	終了	各会場で解散	危機管理課	

6.準備するもの

『防災講話』

- ・各教室のオンライン環境、機材・・・学校

※講座で使用する PPT データについては、予め危機管理課から学校側へ提供する

『資機材取扱い訓練』

- ・防災資機材・・・学校（備蓄室内）
- ・マイク・・・学校

7.役割分担表（予定）

時間		内容	先生（担任等）	危機管理課
【A班】	【B班】			
13：30～		開催挨拶・説明 (校長先生)	—	—
13：45～		生徒・各会場へ 移動開始	生徒誘導	—

●防災講話

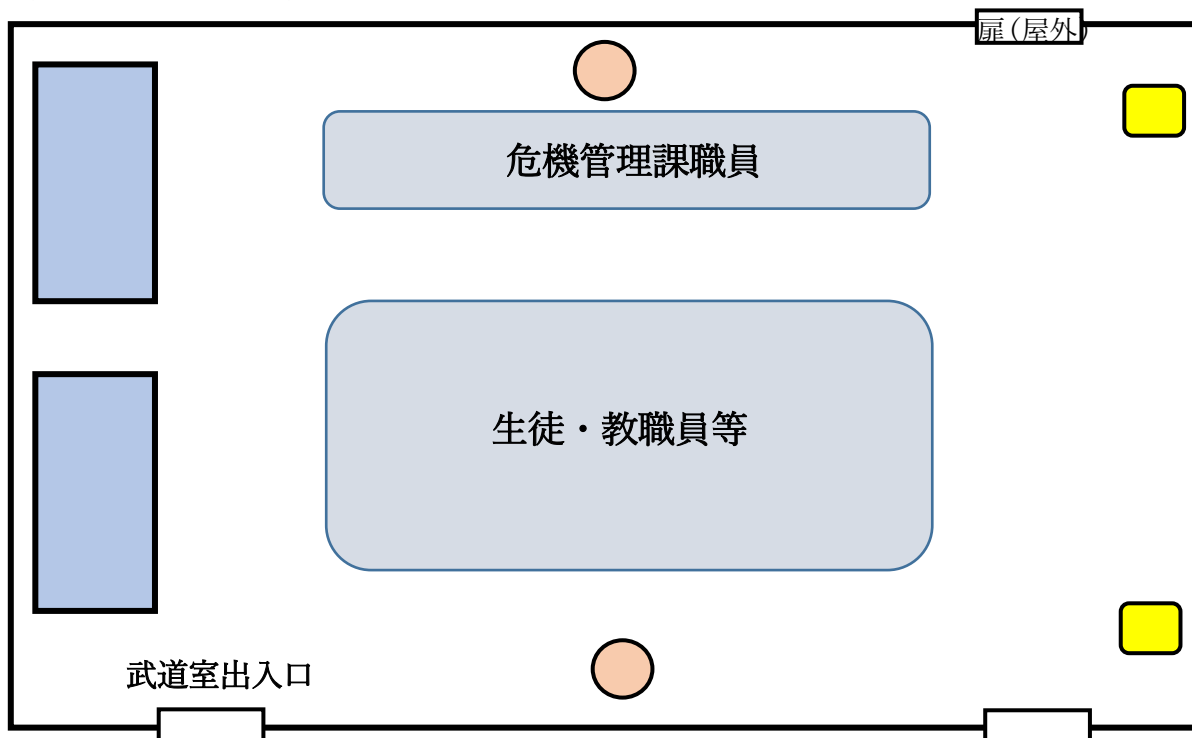
時間		内容	先生（担任等）	危機管理課
【A班】	【B班】			
13：45～	14：30～	生徒は各教室へ 移動開始	生徒誘導① ・生徒は各教室へ	—
13：55～	14：45～	防災講話開始	オンライン授業の 設備管理 ※講話中、講話者 の傍にも学校職員 が立ち合う	・危機管理監(講話 担当) ・サポート担当
14：30～	15：20	【A班】 武道室へ移動 【B班】 終了	生徒誘導② 【A班】 ※武道室で14： 45 から開始でき るよう休憩と移動 の調整	—

●資機材取扱い訓練

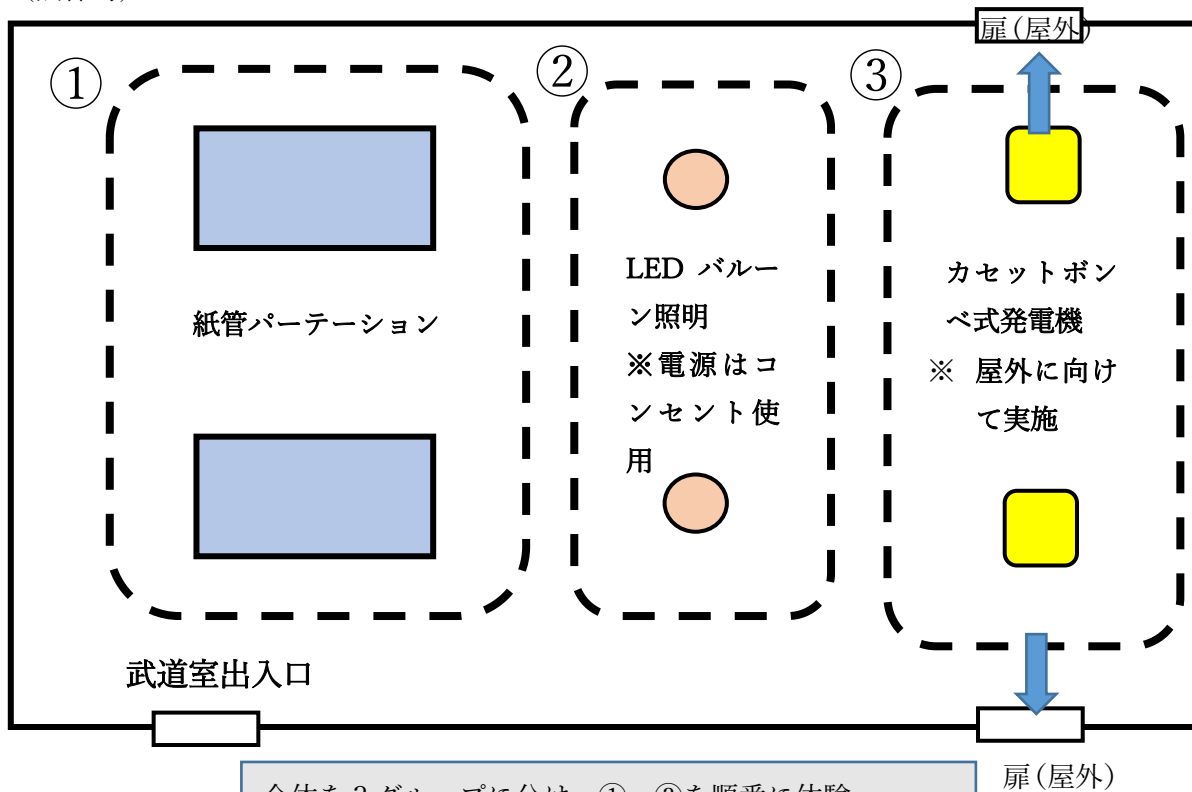
時間		内容	先生（担任等）	危機管理課
【A班】	【B班】			
14：30～	13：45～	生徒は武道室へ 移動開始	生徒誘導① ・生徒は武道室へ	—
14：45～	13：55～	資機材取扱い訓練開始	一緒に体験	・全体説明担当 ・サポート担当 (各資機材に1名)
15：20	14：30～	【A班】 終了 【B班】 各教室へ移動	生徒誘導② 【B班】 ※各教室で14：45から開始できるように休憩と移動の調整	—

《資機材取扱い訓練_武道室レイアウト (案)》

(集合時、全体説明時)



(訓練時)



全体を3グループに分け、①～③を順番に体験。
(各資機材10分間を目安にローテーションしていく)
※各グループ内でさらに2班に分かれる。

令和6年度 大穴中学校 出前講座・2学年 事後アンケート

○アンケートの目的

訓練評価・運営者の振り返り、次年度への改善に役立てる

○Googleフォームで作成、集計。

○メールアドレス共有なし

○質問数Q1～Q5

○質問内容

令和6年度大穴中学校 2学年事後アンケート

本日実施した防災教育を振り返って、あなたのご意見をお聞かせください。
アンケート設問は、全5問です。

回答者：2年 組 番 氏名

(『防災講話』について)

Q1.講話の内容は、難しかったですか。(選択・必須)

- ①とても簡単だった
- ②やや簡単だった
- ③やや難しかった
- ④とても難しかった

Q2.『防災講話』の内容で、特に印象に残ったことを教えてください。(自由記載)

(『資機材取扱い訓練』について)

Q3. 体験したことは、災害時に役立ちそうですか。(選択・必須)

- ①とても役に立つと思う
- ②やや役に立つと思う
- ③あまり役に立たないと思う
- ④全く役に立たないと思う

Q4. 今回の訓練で、役に立つと思った項目を教えてください。(複数回答可) (選択・必須)

- ①紙管パーテーション
- ②LEDバルーン照明
- ③カセットボンベ式発電機

Q5. 今後の訓練への要望等、自由にご記入ください。(自由記載)

以上でアンケートは終了となります。

船橋市立大穴中学校御中

令和6年度防災教育提案書

第1回防災教育3年生

船橋防災連絡会担当分

船橋防災連絡会

1. ねらい

大穴地区は高齢化が進んでおり、平日の昼間は高齢者と父兄を含めて圧倒的に女性が多くなることから、避難所開設などに働き手が足りず、防災リソースとして中学生の活躍が求められる。このため、本年度が初めての試みとなるが大穴中学校と地域が連携して防災訓練を行う。実施した結果を次世代に引き継ぐことにより大穴地区の防災知識と防災スキルを蓄積する。

2. 概要

日時：令和6年9月4日（水）題5・6校時（13：30－15：30）

場所：船橋市立大穴中学校

訓練項目

1. 一年生：防災運動会（船橋SLネットワーク）
2. 二年生：避難場所資機材組み立て（船橋市危機管理課）
3. 三年生：公開型クロスロードゲーム（船橋防災連絡会）

3. 目的

- 1) 大穴中学校を核として大穴地区の防災能力を向上し、『誰も取り残さない大穴地区』を実現する。
- 2) 大穴中学校の在校生と卒業生、父兄（保護者）と地域住民が一体となって安心・安全な地域を創生する。

4. 訓練内容【公開討論型クロスロードゲーム】：3年生

1) 動機

近年、激甚化する災害から命を守るためには、国や地方自治体による災害対策だけでなく、私たち一人一人の災害に対する心構えや知識と備えが重要です。災害を知り自分たちの街を知り、何をすべきかを考えることができる豊富なイマジネーション力こそが防災力向上の基礎となるものです。本日の訓練を通じて参加者一人一人の防災・減災意識が根付くことを願っており、近い将来には助けられる側から助ける側へ『防止リーダー』に育つことを期待します。

2) クロスロード・ゲームとは

分岐点に立っている参加者がどちらに行くべきかを自分なりに選択の理由を考え、その後、他の参加者の選択と、その理由を聞くことで、多くの価値観や視点に出会うことができるゲームです。災害をイメージし、想像力を高めて『もしも』に備える、防災につながる行動がとれるよう訓練するものです。「分岐点」では、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなければならないようなジレンマがあり、自分の身に引き寄せて考えると同時に、他者の様々な考えを知ることができます。

後悔討論型クロスロードゲームは「カードゲーム型」から大人数同時実施が可能なようにデジタル機材を使用して行うものです。

5. スケジュール

時刻	行動	活動内容	先生の動き	船防の動き
12:00	船防集合	最終確認・昼食	なし	確認と昼食
12:30	PC セット	PC 稼働確認	指導	PC セット
12:45	環境確認	PC 操作等 担当分担	挨拶	担当者事前会議
13:00	体育館に移動	移動	指示	移動
13:30	訓練開始宣言	校長挨拶	石川校長先生	挨拶
13:45	クラスに移動	移動	指示	移動
13:55	イントロダク ション	ゲーム・進捗説明 挨拶・役割分担	号令・観察 船防サポート	説明
14:00	出題 No.1	※	観察	
14:20	5 時限終了		船防サポート	班長支援

※船防メンバーが事前確認と昼食のために使用できる場所をお貸し下さい。

※ゲームの役割分担：事前に決めておいて下さい。

・進行役（各藩1班1名・班長？）：班：タイム・キーパー、
全体：問題読み上げ（1班から順送り）

・クロスノート記録係：各班2名（記録と発表）・班内で輪番制

※担任の先生にご支援いただきたいこと：PC など機材の使用方法＋生徒 PC へのクロスノートの展開

時刻	行動	活動内容	先生の動き	船防の動き
14:30	出題 No.2	※	観察	班長支援
14:45	出題 No.3	※	観察	班長支援
14:30	出題 No.4	※	観察	班長支援
14:45	まとめと講評		観察	講評
14:50	挨拶	終了	号令	挨拶

※問題読み上げ（進行役）⇒Thinking Time⇒各自発表⇒クロスノート記録係記録・整理
⇒発表（各班）目安：1問15分～20分

※進捗状況により出題数は変わる（最低4問、最大8問を目指す数より内容を優先

6. 訓練が、災害時に意思決定しなければならない当事者として次を取るべき行動を迫られる。選択には大きなジレンマが隠れており、実際の災害の場合には自分の命がかかっている場合が少なくない。また、自分以外の人の命を預かっている重さを十分に感じていただきたい。

7. 対象：3年生全生徒・・・3クラス188名（ゲームは1班を1チームとして行う）

8. 会場：クラス（教室）

9. 授業（公開討論型クロスロードゲーム）での役割

- ・ **班長**：班の進捗管理（タイムキーパー）1班から順番に、クラス全体に対して問題の読み上げを行う。
- ・ **クロスノート記録係**（2寧ペア）：班の結果を記録する。記録する内容は、yes/noの人数と選択の主な理由、また、ユニークな理由があれば特記する。クラス全体にまとめ（yes/noの人数と代表的な選択理由・ユニークな選択理由）を発表する。
- ・ **船防**（船橋防災連絡会）：1クラスを正副2名が担当する。全体のタイムキーパーと説明、PCオペレーション、班長支援などを行う。
- ・ **担任の先生**：船防の設備のオペレーション支援、生徒の見守りをお願いします。

10. ゲームの概要

〇〇Corporation

船橋市立大穴中学校様

クロスロードゲーム進行

2024年9月4日

船橋防災連絡会・指導者用

※担任の先生へお願い

班分けは通常の学校生活の中でできていれば、それを利用したいと思いますが、班長、クロスノート記録係などで支障があるようでしたら事前に訓練用の班分けをしておいて下さい。⇒特に、スキルはいりませんが、配慮が必要な方は初めての対面では分かりませんので（※靈感の強い子がいまして、心肺蘇生の人形が触れないと泣かれたことがあります。）

1. 本日の進め方について

▶スケジュール

集合	13:30	ゲーム	13:55-14:45
開会式	13:30-13:45	振り返り・	14:45-
移動	13:45-13:55	サマリー	14:50
		解散	14:50

▶体制

	担任	船防
1組		
2組		
3組		

3

※5校時と6校時を連続して使いますが、休憩時間は通常とおり10分取ります。

2. 公開討論型クロスロードゲームの進め方

▶オリエンテーション : 13:55-14:05

→ 防災クロスロードゲーム「その時どうする」(動画視聴:課題1~3ひとつ)

仮想空間の中で災害時に迫られるさまざまな「選択」を体験することで、
防災について**自分の事**として考えていきます。

<https://www.nhk.or.jp/bousai/special/02/>

← 一つで視聴打ち切る

→ 本日の進め方について説明

①各班で役割分担を決める(全員):進行役、クロスノート記録係(2名/ペア)*3組?

②問題読み上げ(1班から順番に進行役が読み上げる)

・30秒考える・YES/NO表示・意見発表(全員)・気づきの記録…1問10分程度

③次の班の進行役が次の問題を読み上げ、②同様行い制限時間まで実施する。

*クロスノートを準備し、記録係(2名/ペア)が1問ずつ輪番で担当して記録してください。

4

1 オリエンテーション 13:55 ~ 14:05

(1)自己紹介

- ・私は船橋防災連絡会のx xと申します。宜しくお願いいたします。

(2) クロスロードゲームについて

- ・本日のクロスロードゲームについて、動画を視聴して頂きます。

<https://www.nhk.or.jp/bousai/special/01/>

- ①再生スタート（動画再生が始まる）→課題一つ選択する
- ②「あなたならどうする？」と出たら皆にYES/NO言わせる。
- ③YES/NO どちらかをクリックする。（結果が表示される）
- ④次へを押す。（矢守先生の話） 終了後、ストップ。

- ・クロスロードとは分岐点（交差点）です。ジレンマのある課題を迅速に決断する能力を磨きながら他者の意見を尊重し、多様な考えを採り入れることによって自分を向上させることができるゲームです。正解は皆さんで考えてください、少数意見の中にも気づきがあるはずです。

3

(3) 本日の進め方の説明

①各班で役割を決めていただきます。（全員参加）

- ・班の進行役（1名）→問題読み上げ役
- ・クロスノート記録係（2名・ペア）→ クロスノート配付確認

②では次に進め方です。

- ・問題の読み上げは1班から順番に行います。
- ・記録係の人はペアで記録をし、問題毎に次のペアと交代します。

③問題を読み上げたら、シンキングタイム1分間。

- ・各自1分間考えて、YES/NOどちらかを押します。
- ・進行役はYES/NOを決めた理由を求め、指名します。
(5分程度,可能なら全員が選択理由を言う)

- ・記録係は気づいた点（YES/NO人数・洗濯した主な理由・ユニークな理由を記録します。

④記録係は、班のまとめを順次発表する。全班終わったら次の問題へ②

4

(4) クロスロードゲームスタート (第一問) 14:05~14:20

・それでは開始しましょう。1班の進行役の方どうぞ読んで下さい。

- ①進行役が問題を読み上げる。(スクリーンに投影する)
・読み上げ後「シンキングタイム」です。(1分)
・それでは「yes/no」表示してください。(表示させる)

- ②では進行役の方、皆さんからご意見を求めてください。
また、記録係の方は気づいたことを記録してください。(yes/no両方の意見)

【 5~6分程度意見拝聴する 】

- ③それでは時間ですので、班ごとにまとめを発表して下さい。これから10分休憩を取ります。10分後に再開しますので14:30分五着席して下さい。
次の班の進行役さん問題をお願いします。(以下①から繰り返す)

- ④皆さん時間になりましたのでゲームを終了します。

5

6校時

(5) クロスロードゲーム再スタート (第二問) 14:30~15:15

・それでは再開しましょう。2班の進行役の方どうぞ読んで下さい。

- ①進行役が問題を読み上げる。(スクリーンに投影する)
・読み上げ後「シンキングタイム」です。(1分)
・それでは「yes/no」表示してください。(表示させる)

- ②では進行役の方、皆さんからご意見を求めてください。
また、記録係の方は気づいたことを記録してください。(yes/no両方の意見)

【 5~6分程度意見拝聴する 】

- ③それでは時間ですので、班ごとにまとめを発表して下さい。これから10分休憩を取ります。10分後に再開しますので14:30分五着席して下さい。
次の班の進行役さん問題をお願いします。(以下①から繰り返す)

※目標4問以上、ただし、内容に重点をおいて意見が伯仲している場合は止めない

15:15

- ④皆さん時間になりましたのでゲームを終了します。

6

(5) エンディング : 15:15-15:20

① 次の動画を視聴してください (約4分)

まず、自分の身を守ること。

→ 【災害体験】能登地震 (地震発生の瞬間) (動画を視聴)

[ドライブレコーダーがとらえた激しい揺れ 石川・珠洲市1月1日【能登半島地震被害状況マップ#25】※映像内で当時の地震速報音が流れます - YouTube](#)

- ② **皆さん、備えはできているでしょうか？** ヒトの心に潜む畏「正常性バイアス」
- ・「きょうは災害 (地震・津波…) は起きないだろう」という漠然とした気持ちから「もしも今日、災害が起きたら！」と考えるべきかを考えて下さい。
 - ・また、日ごろから災害に備えた行動を**家の人や友人と話し合い**ましょう。

③ 今日のクロスロードゲームはほんの少しの問題でしたが実際にはたくさんの課題があります。他人の話を良く聞いて自分のものにして下さい。(多様性)

④ 最後に防災に関する情報について一つだけ紹介しておきます。(次のページ)
以上で本日のクロスロードゲームを終了します。

最後に

本日お伝えしたいこと (目的: 最大のポイント)



9

※担任の先生へお願い：6時限目の終礼のチャイムが鳴らないそうなので船防の担当者
者が暴走しましたら止めて下さい。

1 1. 準備 (学校へのお願い)

1. 教材はパワーポイントで用意しますが、事前にファイルをお送りすればパソコンに展開しておいていただけますか？ダメな場合は当日、USBで持ち込みますので**PCをお借り**できますか (当日、昼休み時間12:30~13:30)？
2. 訓練のための班分け：必要があるようでしたら事前に訓練のための班分けをお願いします。

3. 当日は、机と椅子を班で島が出来るように配置して下さい。(父兄と地域の参加者分も含めて5校時が始まる前に⇒時間的に厳しいようでしたら、かかる時間を教えて下さい⇒タイムスケジュールを考えます)
4. クロスノート記録系のパソコンにノートの展開を当日までをお願いします。無理のようであれば1の時間をお願いします。
5. 船防・・・プログラム：基本的にパワーポイントで作成し USB で持ち込みますが、**動作環境はありますか？**

以上

MEMO

※) 本日の学習で心に残ったことをメモしてみましょう。

令和6年度 船橋市立大穴中学校

(第1回) 防災教育

日時

令和6年9月4日(水)

時間

13時30分～15時20分

集合

大穴中学校体育館

いざという時、どうすれば生き残ることができるのか、
地域の一員として自分ができることは何なのかを考えます。
お忙しい時期ですが、地域のみなさまのご参加をお待ちしています。

訓練内容

1学年 防災運動会/体育館

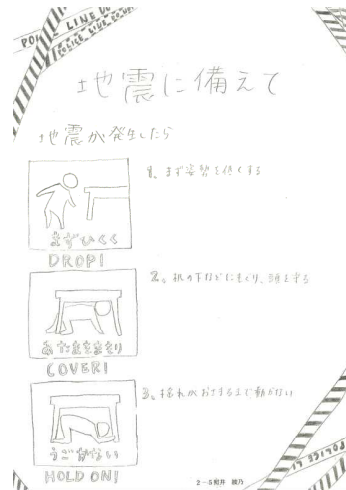
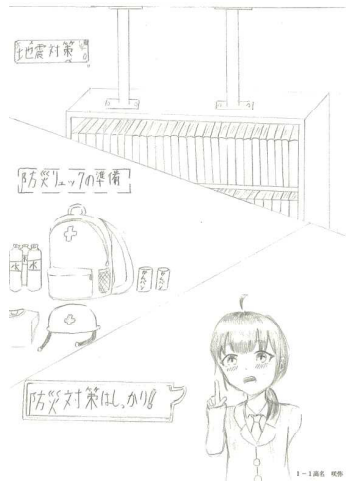
2学年 防災講話・資機材取扱/武道場

3学年 クロスロードゲーム/各教室

※参加される方は、上履きをご持参ください。

【主催】 船橋市立大穴中学校 【参加協力】 大穴連合町会

【企画運営団体】 船橋SLネットワーク / 船橋防災連絡会 / 市危機管理課



【主催】

○船橋市立大穴中学校

【参加協力】

○大穴地区町会自治会連合会 会長 田淵章治様
連絡先：090-2142-8520

【企画運営団体】

○船橋 SL ネットワーク 代表理事 片桐卓様
連絡先：funabashisl55@gmail.com
○船橋防災連絡会 広報担当 塩ノ谷淳一様
連絡先：jun01.jp.bighall@gmail.com
○市危機管理課 主任主事 大野弘将様
連絡先：047-436-2039

【企画コーディネーター】

○船橋 SL ネットワーク 理事 平山優子様
連絡先：yuko-hirayama@col.hi-ho.ne.jp

【マスコミ連絡先】

○千葉 TV <https://www.chiba-tv.com/contact/?type=3>
○Jcom <https://www.jcom.co.jp/contact/form/notice.php?id=7>
○千葉日報 <https://ws.formzu.net/fgen/S30101425/>
○まいふな <https://myfuna.net/contact>
○読売新聞 <https://reg31.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=lita-lemdla-fd2f7a416c2cfda256bbfe9c335dcdff0>

